



～福島河川国道事務所と国見町において 道路災害時の相互応援協定を締結～ 道の駅国見あつかしの郷など防災拠点を有効利用

福島河川国道事務所と国見町は、大規模な道路災害が発生又は発生のおそれがある場合の相互応援をより円滑にするため協定を締結することになりました。

このことにより、非常時には防災拠点でもある道の駅国見あつかしの郷を有効利用することで、道路利用者や地域住民に対する安全安心の体制を築くこととなります。

平成26年2月に発生した記録的な降雪により、国道4号は長時間にわたる渋滞が発生し通過車両や地域住民に大きな影響を与えました。その際に国見町では食料や燃料を配布し、休憩場所として臨時に避難所等を開設しました。

このことを教訓に今回締結する相互応援協定は、非常時に国と町とで相互に協力することで、リエゾンの派遣による情報収集と提供、建設機械等の貸し付け、防災拠点として道の駅国見あつかしの郷や避難所として観月台文化センターなどを利用することより、道路利用者や住民の安全安心の体制を築くことを目的としています。

紀

【締結日】平成30年11月1日（木） 午前10時より

【場 所】道の駅国見あつかしの郷 「あかまつ」

【出席者】福島河川国道事務所長

国見町長

発表記者会〈福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ〉

【問 合 せ 先】

【国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所】

副所長

もとしき 本木 まさのぶ 雅信

TEL 024-546-4331（代表）（内線205）

【国見町】

住民生活課長

むらかみ 村上 こうへい 幸平

TEL 024-585-2116